

# 春の火災予防運動

3月1日から  
3月7日まで

## 女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ運営協議会事務局  
〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目9 岐阜市消防本部予防課内  
電話 058-262-7163  
平成26年3月1日号  
(通算第30号)

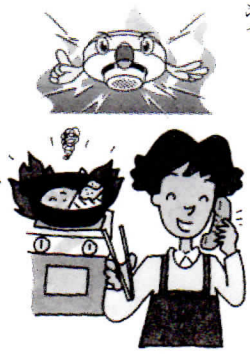
### 消すまでは 心の警報 ONのまま

三月一日から一週間、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図るなどを目的に、毎年実施されるものです。

今年度の全国統一防火標語は『消すまでは 心の警報 ONのまま』です。火災予防運動期間中には、全国各地で防火に関する様々な行事が行われます。



消すまでは  
心の警報  
ONのまま



三月一日から一週間、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図るなどを目的に、毎年実施されるものです。

平成二十三年六月一日からすべての住宅に義務化となつている住宅用火災警報器の岐阜市における設置率は、昨年十一月時点で八十六%となつています。

未設置の住宅はすみやかに設置しましょう。

そして、この機会に是非、あなたの大切な家族・財産を守るため、ご家庭でも火災予防について考えてみましょう。

### 平成二十五年 岐阜市火災概要



平成二十五年に岐阜市内で発生した火災の総件数は百八十一件で、前年の百六十七件と比べると十四件増加しました。

出火原因は「たばこ」が三十二件で最も多く、「たき火」が三十九件、「放火・放火の疑い」二十九件、「こんろ」が二十一件の順となりました。

火災による死者は、前年の八人より四人減少し、四人でした。

住宅火災による死者(放火自殺者を除く)は二人で、一人とも六十五歳以上の高齢者でした。

火災による負傷者は、二十人で前年と比べて四人減少しました。

火災件数の内訳は、建物火災が、八十八件と最も多く発生しました。また、林野火災は五件で、二年十一ヶ月ぶりに発生しました。

火災による損害額は、約四千七百万円で、一日あたり約十三万円の財産が焼失したことになりました。

### 住宅防火 いのちを守る

7つのポイント  
・三つの習慣・四つの対策・

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。大切な家族や財産を守るためにも、火災を無くして安心・安全な街をつくりましょう。

### 三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

各地区の女性防火クラブから  
「岩地域防災訓練の活動」

岩女性防火クラブ

会長 丹羽 直美

私たち岩地域は、平成二十五年十一月十日、岩小学校体育館にて、消防団、水防団、各自治会クラブの皆さんと大規模な防災訓練を行いました。

訓練当日は雨が降る中、各自治会の方が朝早くから訓練に参加し、私達女性防火クラブ員は、自治会女性部の皆さんと共に、非常食の炊き出し配布を行いました。最近の非常食は、ひじき、五目、きのこ炊き込みご飯の味も豊富でした。

作り方も簡単で、入っていたダンボール箱が容器の代わりになり、袋にお米と具の素を混ぜて入れ、お湯を注いで二十分程待てば、ほかほかの炊き込みご飯が出来上がります。大変おいしく頂きました。

その他の訓練では、日赤奉仕団による三角巾を利用した応急処置訓練、避難所設置時の簡易トイレの組み立て、居室空間と間仕切りを組み立て訓練も行いました。

この様な訓練を経験する事によって、今後も各組織と連携しながら、豊かで穏やかな地域づくりが出来れば、クラブ活動に努めて行きたいと思えます。



11/10 岩地域防災訓練

「一年の活動を振り返り」

三輪北女性防火クラブ

会長 箕輪 ゆかり

私たちの三輪北地域は、岐阜市の北部に位置し、人口二千七百七十五人、世帯数九百五十八世帯で岐阜市ファミリアパークと山林が多く自然豊かな場所に位置します。

私たち三輪北女性防火クラブは、クラブ員十九名で構成され、自治会、連合会、消防団、水防団、

日赤奉仕団等の各種団体と連携しながら活動を行っています。

今年度は、「クラブ員が自ら学び、参加し知識を得る場を作る」を目標とし、各種団体の活動に積極的に参加し交流を持つ機会を作るよう、年間の活動計画を策定しました。

クラブ員全員で参加活動した「三輪北地域防災訓練」では、訓練の事前打ち合わせで全員が参加し役割を得ることで、訓練当日は、応急担架の作り方や、AEDの操作方法等、有意義な訓練となりました。

また、三輪分団が、可児市で開催された「第六十二回岐阜県消防操法大会」に岐阜市代表で出場され、夜間訓練への激励や、大会へもクラブ員全員で参加しました。日々の訓練を拝見し、消防団の方々の士気の高さや技術技能の優秀さを目のあたりにして、この三輪地域の安心安全は大丈夫だと印象深く心に刻まれました。

その他にも、三輪北歴史健幸ウォーキングでは、非常食の炊き出し活動を実施しました。日赤奉仕団の方々のご指導により、自治会、連合会と協力し、参加者百七十五

名の方々に配布することができました。クラブ員の中には、非常食の炊き出しの経験が始めての方も多数おり、本場に貴重な体験をすることができました。

今後も、地域を支えている各種団体との連携を含めて、その活動を理解し、学んでいくことにより、当女性防火クラブ経験者が、地域へ貢献できるようにクラブ活動を進めていきたいと思えます。



1/5 消防出初式



住警器くん